

中東・アフリカから観光振興を学びに 八ヶ岳を訪れます！

中東・アフリカより来日している各国の観光庁行政官が山梨県を訪れ、講義・現地踏査を交えながら地域資源を活用した観光振興のノウハウを学びます。

JICAは、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を毎年実施しており、世界各地から観光行政官を受け入れています。

今回は中東・アフリカ地域の行政官が観光振興政策を学びに山梨県を訪れます。観光産業は雇用創出、地域経済発展につながることから、中東・アフリカといった国々も力を入れて取り組みだしており、JICAも研修事業という形で支援を行っています。



この機会に是非、取材・報道をご検討いただければと思います。

<研修概要>

研修コース名：観光振興とマーケティング

山梨県での研修：

10月5日（木）14：30～17：00/古民家なかや、三代校舎ふれあいの里 視察

10月6日（金）9：00～11：30/富士見高原リゾート、道の駅こぶちざわ 視察

（全体研修期間：2017年9月11日～2017年10月20日）

※取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

<参加者>

アルジェリア、エジプト、ヨルダン、スーダン、パレスチナ等 行政官 計11名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳（英語-日本語）を行います。

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

JICA 東京 産業開発・公共政策課 山田 芙美

TEL：03-3485-7630 e-mail：Yamada.Fumi@jica.go.jp